

議会広報広聴委員会記録

令和元年8月19日(月)
午前11時21分～午後0時35分
議会第1委員会室

- 【出席者】小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
【事務局】篠原次長、近重書記
-

議題

1 議会報告会（地域井戸端会）について……………資料1

(1) 開催内容について

- ア 進行方式 カフェ方式
- イ テーマ設定 表を配付し当日決める
- ウ 周知方法 市議会HP、CATV文字放送、広報はまだ（10月号）
はまだ議会だより（9月号）、チラシ
- エ 役割分担 班長会議後に決定

(2) その他

特になし

2 市民1日議会（仮）について……………資料2

- 11月の改選時まで課題等を抽出し次期委員会に引き継ぐ

3 はまだ議会だよりVol. 55について……………資料3

- 記事内容は案のとおりとし個人一般質問の人数が決定次第改めて検討
- トピックスの記事は各常任委員会から出すのではなく話題のものを出す形に変更
- トピックスの抽出は、9/25に行う。

4 その他

- 広聴機能拡充ため市長陳情を議会へも行う流れについて次回検討

次回委員会 開催予定日：令和元年9月6日（金）個人一般質問終了後

【議事の経過】

[午前 11時 21分 開議]

小川委員長

ただ今から議会広報広聴委員会を開催します。本日澁谷委員から欠席の届が出ていますが、定足数には達していますので、委員会を開催します。議題1から進めてまいります。

1. 議会報告会（地域井戸端会）について

(1) 開催内容について

(2) その他

近重書記

(以下、資料をもとに説明)

小川委員長

今回は日程が詰んでいますので、様々な部分で確認があらうと思いますが、進めていきたいと思っています。1の名称、2の会場担当課については、従来の形をそのまま踏襲させていただいています。これについては特に問題ないのではと思いますが、いかがでしょうか。

(「なし」という声あり)

良いですか、問題がなければ昨年と同じ班編成でさせていただきたいと思えます。

あとは協議事項の案で5つありますが、1の関係。参加者の方からは予算報告等も要らないという意見を実際伺っていますが、9月は決算認定が主な議論にありますので簡単には報告した方がいいと思えます。

テーマの設定ですが去年の井戸端会の時のテーマをそのまま使うか、また新たに変わるかどうか中心になると思えます。

近重書記

昨年はある程度分野表を一覧で作り、持っていわずにその場で決めておられたかと思えます。春はこちらでテーマ設定しました。昨年秋の井戸端会はテーマ設定はせずに、こちらから20個程度の候補を表にして、班ごとに決める流れで進めておられました。入る前に島根県の白地図を渡して、浜田市はどこでしょうかといったアイスブレイクを入れていただき、スムーズに入りました。

小川委員長

1から5までの内容についてご審議いただきたいと思えます。昨年と同じようなテーマ設定の仕方でいきますか。それとも前回はほとんど班長の方で集まってその中で話をしてもらったものを、柱にして進めてもらった所もありますよね。

近重書記

前回とは春ですか、春は……。

小川委員長

秋の時は班長会議しなかったかな。

近重書記

去年の秋はまだ各常任委員会の委員長さんが班長をされていた頃だった

ので、議員さんがお声がけして開催していただきました。春はこの中で色々意思決定をかけているので、この委員の皆さんが班長で今のような形式で進めています。

田畑委員

春に議会報告会やりましたよね。例えば公民館でやってそれぞれのテーマをもってやって、特に国府、三隅あたりは非常に良かったと思います。意見交換となると執行権のない議員が意見交換して、ではそれをどうするかとなると意見が出なかったり、あとテーマを絞った方が良いとは思いますが、いかがでしょうか。色々考え方がありますので。

西川委員

この間の春の時はある程度テーマを絞って、委員会ごとに出してもらいましたが、形にはなっていませんが政策の形成サイクル、政策討論会を中心としたサイクルでいくと、井戸端会はある程度地域の課題を吸収する方が、色んな意見を吸収した方が良いと思うので、1年前みたいにある程度項目を提示して、その中からできればテーブルごとに、みたいなスタイルで吸い上げた方が。この間も、言いたいことがあるけどテーマが決まっているから言えないという方もおられるので、今回はある程度聞くスタンスの方が良い気がします。

小川委員長

ある程度決めながら進めると。

西川委員

この春の時はある程度テーマを決めたので声かけもしやすかったのです。今回は、決めるとしやすい、決めないとしにくいという面はあるとは思いますが、PRの仕方は皆さんで考えて。できたら公民館単位で人を集めることをした方が良いかなと。

小川委員長

政策討論会のサイクルとの面もあるし、テーマでも実際は1つサイクルができて回っている。秋からテーマも含めてもう一度サイクルを始めるということで良いのでしょうか。

田畑委員

良いと思います。

小川委員長

その前のテーマを決めずにやるのか、ある程度……前回は9つや12個くらいの中から選んでやったら良いという話もありましたが、その辺も含めて。市民の関心があるテーマを選ぶということも。

西川委員

1個前にもっと一杯ありました。

田畑委員

びっくりしたのは、国府公民館は普段8人くらいしか来ない。この春は30人くらいだった。そうすると4つくらいテーブルを作らないといけない。三隅も多かったけどテーマを2つと決めていたから。良い悪いは別として、やはりいくつかテーマを持っていた方が良いなど。公民館ごとに5つくらいのテーマを準備しておいてやった方が、声が出やすいと思うけど。

小川委員長

一応4つくらいのテーマに分けてありますよね。どういう形でも問題な

い。

近重書記 西川委員が言われたのが配信した資料です。これ去年は案の段階ではあったのですが、最終的には1つ前にお出しした方になりました。しかしその他というのも入っていますので、これを言えば何でも汎用性があります。

小川委員長 対応するような柔軟性もあって良いと思います。

川上副委員長 去年の参考の表を活用して、もう一度やってみた方がよろしいかと思えます。

小川委員長 どちらですか。

川上副委員長 4つです。その他も。

小川委員長 真ん中のその他。

川上副委員長 その他にも目を向けてくださるよう明らかにしておいて、やった方が良くと思います。

小川委員長 では、テーマについてはその分を使わせてもらっても良いですかね。真ん中にその他がある表を使わせていただくということで。

近重書記 色んな立場で考えてみてくださいと。

小川委員長 進行カフェ方式で問題ないですよ、前回と同じで。
(「はい」という声あり)

あと周知方法でいくと、あらかじめチラシやポスターも事前に作っておくということも含めてだと思えますが。議会が重なって同時進行の形になりますのでそのあたりの心づもりづもりはしていないと日程が窮屈になっていますので。

近重書記 ホームページとケーブルテレビ文字放送は、うちでできます。あとは10月の広報はまだと最新の議会だよりも載せる算段をしています。そこは事務局で行います。

田畑委員 ケーブルテレビは浜田ケーブルビジョンか。

近重書記 市議会からのお知らせ。

田畑委員 三隅は自分のところのチャンネルしか見る習性がないから。ケーブルテレビの力は大きいよ。

近重書記 春は皆さんが出演されて15分放送で結構お話ししましたが、今回そういう番組はないので。

西川委員 番組告知コーナーなら良いのでは。

村武委員 1分くらいですけど。

小川委員長 チラシやポスターはどの辺りで作るか、今日決めますか。

近重書記 今の話だと今回はテーマを入れなくて良いので、簡単なのは去年のをそのまま焼き直す方法です。去年のチラシのデータを配信しました。

ではとりあえず、表の日にちと会場と時間を変えて、裏のチーム分けは春だと会場と日にちを書いたので、チーム名の所は上府自治公民館10月7日といったように、春のやり方に揃えようと思います。

三浦議員　　そうしたら表面の名前は要らないね。それなら会場と開催日を大きくできる。裏を見れば議員の名前が分かるなら。

小川委員長　　では、以上のご意見を参考に修正を加えて進めさせていただければと思います。では周知方法はそのようにして、できればまた公民館に置かせてもらうようお願いする取組は、やった方が良いですか。

(「はい」という声あり)

近重書記　　公民館に手持ちされるという話ですが、どうしますか。

三浦委員　　前と同じで良いのではないですか。

近重書記　　よろしいですか。

(「はい」という声あり)

前回は村武班が旭の担当だったから、では旭は……というのをされましたが、そのままで良いですか。

村武委員　　それは良いけど、前は担当の所に行っていましたよね。国府だから国府に行くとか、言っていませんでしたか。今回は担当が違うけど。

西川委員　　担当が行くか、担当が地元議員にお願いするか、とりあえず担当が考えることにしたら。

田畑委員　　地元議員を使った方がいいよ。

村武委員　　そうしたらもう……ここだけでなく開催会場の公民館だけに持っていくわけではないのですか。全部ですか。

(「全部」という声あり)

そうしたらもう、担当とか関係なくして地元の議員さんに振り分けても良いのではないですか。

近重書記　　前回の資料を送りましたが、実施会場は班長さんで、それ以外の所は地元議員さんが配っておられるとか。

西川委員　　実施公民館だけ変えていけば良いのではないですか。

田畑委員　　地の利があるので地元議員にやらせた方が良い。

近重書記　　石見公民館だったら村武委員が。

村武委員　　それか、本当に担当は関係なくして近い議員が持っていく。

近重書記　　弥栄は串崎議員が両方持って行っています。混在している感じですが、全部が全部班長さんではなくて。

(「地元議員で」という声あり)

三浦委員　　手分けして、行ける所へ行く。あとで調整しましょう。

小川委員長 近重書記	多少手直しする形で。 ではこの表の丸だけ変えて、担当議員はかまわない。今市公民館が4人おられるから、これは上野議員にさせていただいたら良いのかなと思いますが。村武委員、都川公民館は大丈夫ですか。
村武委員	だから、もしできたら都川は上野議員に行っていたりとか、してもらいたいですが。
近重書記	今市と都川は分かりました。
西川委員	和田公民館担当なので、私の名前も併記しておいてください。
村武委員	そうすると私の担当がなくなってしまうかもしれないのだけど、良いのかな。私、石見公民館に行くので、布施さんに分館を担当してもらえますかね。
田畑委員	私は。
近重書記	三隅公民館へお願いします。今市・都川は上野議員、和田は上野議員と西川委員、石見は布施議員から村武委員へ変える。あとは上府自治公民館のところを変えて。
小川委員長	ということよろしいですか。
沖田委員	上府自治公民館はポスターとチラシをください。
小川委員長	周知方法については、そういう形で進めさせていただくということで。役割分担はまた事前に、班の方で集まってその中でやっていただくということですが、例えばテーブルを4つくらい分けないといけなくなった時、殆どの人がバラバラで決めていたテーマとは全く違う話で、臨機応変に対応するしかないと思います。その辺も少し相談していただければと思います。
近重書記	今送ったもので、役割は司会進行、ファシリテータと、記録・報告者の3つでよろしいですか。
小川委員長	分かれたらそれどころではなくなってしまっ。
田畑委員	人数や状況によって変化するのは仕方ない。
小川委員長	1人でやって1人でまとめたりしなければならぬ場合も出てきますね。
近重書記	役割分担は、いつまでに各班で決めていただきましょか。
西川委員	その前に班長会を1回やった方が良いかなと思います。
小川委員長	1回この辺りに決めて欲しいということ。
近重書記	恐らくこのことを議員全体に周知するのが、初日の全協、急いでも9月2日くらいが良いのかなと。開催まで1か月ないので。そこである程度の流れを出して、あとは各班で打合せという流れになるのかなと私は勝手に思っているのですが。2日の時点で全議員さんにチラシが渡されると。

小川委員長 班内での役割分担は、それ以降に決められても。チラシもそれまでに作るのでしょうか。

近重書記 そうですね。

小川委員長 では協議事項案については1から5まで、そういう形で進めさせていただこうと思います。

2. 市民1日議会（仮）について

小川委員長 前回も少しこのことについて検討させていただきましたが、広報広聴委員会として、こういうのでどうだろうかという形にした方が良いのではという委員からの意見があり、皆さんとの総意として、広報としてこういう形で提案しますということにすべきではないかと思います。

目を通されたと思いますが、皆さんから何かご意見があれば出していただき、広報広聴としての合意形成を図りたいと思います。三浦委員だけでなく、誰が聞かれても説明できるようにさせていただきたいと思います。

川上副委員長 前回お出しして、中身はご熟読いただいたかと思います。今年11月には新しい委員に変わる可能性があるので、今の委員の中で、こんなことがあったから次回へつないでおこうという形で、今回はやっていきたいと思います。私はそれが良いと思うのですが。新しい委員になって初めて、こういうことがありました、ではなく、こういうのがあったので検討しましょうねと。次回に検討していただく形にしておいた方が良く思うのですが、いかがでしょうか。

小川委員長 そういう提案がありました。

田畑委員 残りが無いのだから仕方ないよな。

小川委員長 試行的にやれば何とかできるかなという気持ちもありましたが、なかなか皆さんの合意が得られるまでは至らなかったもので、せっかくここまでありますし、視察の成果をきちんと形にしていくことも必要だと思いますので、次の委員会体制に引き継いでいくベースを、この中で確認できればと思います。

皆さん目を通されて何か気づいた点があればお願いします。

芦谷委員 議会報告会もやっている。1日議会については女性議会というのがありました。多分2、3年前に執行部が行いました。これを議会として取り組むのか、執行部との共同作業になるのか、考え方を少し整理しないといけないなど。やるのは良いと思うのですが。議会としてどういった思いでどう進むかをまず決めないといけないとは思ったのですが。10年以上前には、確か障がい者の関係についてもしたような気がするのだが。執行部がね。

西川委員	犬山市のフリースピーチ制度をベースに三浦さんに考えてもらって、非常に良い取組だったので、議会としてやることに賛成です。ただ、発言者数10名というのは最初は多いかなというのが率直な感想です。あと、できれば色々な方に登壇していただきたいので、集め方、例えば女性枠等をあらかじめ設定して募集しないと、同じ人ばかり来るのかなという感じがします。
小川委員長	どちらにしても9月議会が終わると次の体制に向けての機会が出始めるでしょう。そうなるまでどこまでできているものを、どこまで形にするか皆さんの意見を盛り込んで、提案できる内容まで持っていくか、そこまで考えておられないかもしれませんが。趣旨については芦谷委員が言われる所もあるし。
村武委員	実際に委員会委員メンバーが変わるのはいつ頃ですか。
小川委員長	11月臨時会ですね。
田畑委員	今の予定では11月中旬くらいになると。
篠原次長	案としては11月中旬が第一候補です。
田畑委員	その時、広報は変わるの。
近重書記	広報は各常任委員会から3人という決まりですので、常任委員会のメンバーが代わるなら代わる可能性はあります。
小川委員長	その辺りはまだ分かりませんよね。
芦谷委員	広報広聴は結構色々なことをしているから、可能な限り残るようにしておかないと。ごろっと変わるかもしれないので。市民にも分かりにくいしな。
田畑委員	前に比べたら随分良くなった。画期的なものだ。しかし以降も広報広聴委員でいられるかどうか分からないのに、あまり先のことをがんじがらめにしておくのもどうかなと。
小川委員長	現行の広報広聴メンバーにおいては、ある程度の認識の一致は図れるとは思いますが、次回へきちんと伝えていっていただきたいということでよろしいでしょうか。
	(「はい」という声あり)
	では申し送りを次回の体制に向けて、させていただこうと思います。

3. はまだ議会だよりVol. 55について

小川委員長	次号のはまだ議会だよりについて、大まかなレイアウトだけでも確認していければと思います。
近重書記	今まで編集する中で講評いただいている件もあるので、1つ目が掲載記

事案ですが、まだ個人一般質問の人数が固まっていませんので不確かな部分はかなりあります。一応昨年度とほとんど同じにはしていますが。

(以下、資料をもとに説明)

このように案としては考えておりますが、いかがでしょうか。

小川委員長

掲載記事について皆さんからご意見ありますでしょうか。政策討論会の件は議長から要望があったそうですね。

近重書記

そうですね。

小川委員長

開催したことを議会として皆さんにお示しすることが必要ではないかと。

笹田議員

個人一般質問の、次からは質問は問と答えになるのですか。

近重書記

それはすみません、後で説明します。

小川委員長

こういう形で記事を考える方向でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

近重書記

個人一般質問が空いたら、視察の報告か何かを入れるかなと思ったのですが。

田畑委員

自治区制度は来年3月で終わりかな。

(「あと1年続く」という声あり)

中間報告等はしたかな。

三浦委員

自治区制度についてですか。特別委員会からはしています。

近重書記

12月号に載せた記憶はあります。

小川委員長

その時に考えますか。

近重書記

はい、ではまたご意見ください。

三浦委員

定例会の会議トピックスなのですが、今は各委員から割りつけられていて、紙面のゲラを見た時に予算委員会の御便殿の件と総務委員会の御便殿の件は同じ案件で、委員会が違うからというのは議会都合なので、読者から見れば一つにまとめた方が良かったのかな、という印象を私は受けました。なので、各委員会からというよりは議会としてのトピックスを紙面に合わせて、例えば2個なら2個、3つなら3つという形で、時に総務文教委員会の案件が2つあっても良いと思いますし。出てくる議案の数は定例会によって委員会ごとにバラつきがあるのは自然なことだと思うので、紙面も伝えたいことをメインに選んでいった方が、読者である市民にとっては良いのではないかという気持ちがあったので。

小川委員長

委員長報告については担当委員にお任せしていますが、調整はやりやすくはなっていると思います。三浦委員が言われたように、あまり重複がないように市民に対しては分かりやすい紙面にする。1委員会に1つではなく調整することがあっても良いと思います。

笹田委員 全く賛成です。記事をここで決めれば良いのです。僕も被っているという気持ちがあったので。各委員会で決めるのではなく、ここも常任委員会ですからここで記事を決めて書いてもらった方が。次回にやってみたらどうですか。

近重書記 選定するタイミングは。今までなら個人一般質問の最終日にだいたい原稿依頼して、最終日に回収する形になっているのですが。

笹田委員 その時にもうだいたい議案は出ていて絞れるから。

近重書記 では改めて集まらずに、個人一般質問最終日に。

小川委員長 3ページから5ページあたりのトピックスのあたりを検討しながら紙面構成していきますか。

近重書記 先ほど笹田委員からご指摘がありました。個人一般質問の案で、今、質問と回答については答弁された部長職名や市長名を書いています。場合によってはここで7、8文字かかってしまうので、いっそのこと「問・答」ということで変えないかという意見がありました。

以前は下の案だったのですが、どこかのタイミングで意見か指摘があったのか、それで変えてみたのですが。

笹田委員 広報誌の研修会で指摘があったのよ。

田畑委員 誰が答弁したかという情報はやはり必要だと思う。文字数が気になるなら整理して書けば良い。

芦谷委員 はっきり言えば目まぐるしく変わっているのだよな。方向を少し整理してもらって。浜田の方法を考えてみてあちこちしてもあまり良くない気もするので調べてもらえば良いなと思って。変えることはいとわないけど。

笹田委員 その時の研修でも、本当は市長が言って然るべきでしょう。でも市長が答えてないなら、答えてないと市民に分かりやすく言った方が良いという話でした。市長が答える所はそれが要らないのです。Q&Aで済む。だから言うてはいけないのですが、他の部長に任せているのではないかという所も見えるところもあったりして。市民からすれば関係ない話ですが。

小川委員長 基本的には市長が答えるものを担当部長が答えているだけ、という見方もあるので。

笹田委員 他市では全部市長が答えている例もありますから。

田畑委員 本来は市長が答弁すべきなのだ。浜田市長は何もしないと言う市民が一杯いる。市長に質問しているのだから。

小川委員長 市長もしくは教育長ですね。そういうことになっています。

田畑委員 それを市長が答えないのだから。

西川委員 地域、産業、とかにして凡例を入れて、略称にしたらどうですか。

小川委員長
三浦委員
機構改革によって色んな新しい職名できたりするが。
経済産業部副参事。9文字。3回登場したら27文字だから3行分取られる
のです。

笹田委員
川上委員
市民からすれば、どちらでも良い話だと思います。
個人一般質問の答弁は市長がする決まりになっていると認識してない人
も一杯いる。

笹田委員
僕も議員になった当初、田畑さんが質問した時に部長が言った答えを市
長が叱って、答弁を変えたことがあります。本当はいけないのでしょうか。

小川委員長
市民の皆さんにきちんとお伝えするためには、現行の方が良いのか、Q
& Aと記すのが良いのか、どうしたらいいかについては、もう少し時間を
かけて検討してみますか。

近重書記
では今回は今までどおりで。

小川委員長
今回は今までどおりにして、少しそういう意見もあるということ。

近重書記
最後に。これは先ほどの話もあるのであまりなのですが、決算のページ
ですが去年のを見ていただくと、話題になった議題に対してこういう質疑
があって、最後に付帯決議を載せている状態でしたり、手を挙げている写
真があります。去年作る時に字幕だ何だと色々あって、他所の自治体さん
のを下に貼り付けているのですが、先ほどの三浦委員のご意見もありまし
たが、ある程度の事業をピックアップしてその中の答弁を載せる、他の所
には決算というのがどういう流れで出るかとか、決算額というのが一応あ
るので、こういったものを入れる形にしてはどうでしょうか、という提案
をしようかと思ったのですが、先ほど委員会の話が少しあったので、そこ
との兼ね合いがあるので飽くまで参考程度にさせていただければと思います。

小川委員長
今回の予算決算委員会と総務文教の関係で、ダブった中身があったもの
でという、そこを調整しようという取組です。予算決算委員会については
文字ばかりではなく、市民の方がパッと見た時に分かりやすいような編集
にした方が良いのではないかと。

近重書記
これは丹波市です。議会運営委員会方が昨年に行行政視察で行っておられ
ます。

田畑委員
笹田委員
丹波市は議会報告会の現場に行ったな。
行きましたね。

近重書記
これと予算決算委員会の予備日4日間分を経てからでないと、恐らく固
まってこないなので、そこはちょっと。ある程度1回ここでこういう集まり
をして、この議題だけピックアップするような作業が要るのかなと。

小川委員長
近重書記

予備日というか終わった後に少し集まってもらって。
このようにするというのは、皆さん良いのですか。

(「はい」という声あり)

近重書記

このピックアップは決算の最終日、その時には間違いなく1回。

それでは議会だよりの確認ですが、掲載記事の案についてはとりあえず今のとおり。個人一般質問の人数が出次第また次の委員会の時に決める。

掲載レイアウトについての決算認定については、この案でやるので、記事の事業抽出は決算審査日の最終日に改めて行う。個人一般質問の表記については今までどおりでとりあえずやる。かしこまりました。

小川委員長
近重書記
芦谷委員

よろしくをお願いします。議会だよりにについては、これでよろしいですか。

その他は私からはありませんので、何かあれば。

陳情一覧表と、資料はあるの。

(「あれは終わった後では」という声あり)

小川委員長
芦谷委員

色々意見があるので、一応趣旨だけ。

この前犬山市へ行って質問した中で、市長陳情をしたものがほとんど市議会陳情もあるということでした。浜田の場合は二十数件の陳情があっただけでほとんど市議会にはしていないです。市議会の広聴機能として、市長陳情があったものについて、市議会にも陳情してもらった方が良いと思っています。そのことの要請文をね、議長名をして市長にお願いをすることなので、最終的には。そのことは議会の広聴活動の一環として本委員会で提案をして、議運に諮っていただいて、最終的には議長から市長に対して、市に対する陳情については可能な限り市議会にも陳情してくださいというお願いをしてはと思います。今日は資料を作っていないのでこれだけ、22件、市長においては8件あるので30件ばかりあります、市長に対する陳情が。場合によっては市議会にしておられるのですが、「ああこんなこともあったのか」ということもあったりするので、是非市議会の広聴機能として、そのことを市長にお願いしてはということです。詳しくはこの次に、陳情の一覧表と要請文とは、今作っていますのでこの次に提案させていただいて、説明するというのでどうでしょうか、お願いします。

小川委員長

そういうご意見ですが、どうでしょうか。実際、市長宛に出された陳情の内容は議員の方では全く感知していないことがたくさんあるので、そういうこともきちんと知っておくべきではないかという提案だと思えますが。その分は新たに、議会に陳情し直すということですか、それとも「こういうのが出ています」というのを執行部側から提供していただくのですか。

芦谷委員

できれば市の窓口で市長もあれば議会もありますと説明をして、当日に

時間を変えて市長にする、市議会にもする。逆でももちろん良いですが。そういったことをしていただく方が、市民の思いを市長も市議会も共有するという観点からいけば、市民にとっても損はないし、市の市政執行上も良いことなので。思いついて提案させていただきます。

小川委員長

陳情者の意向ということだと思いますが、その方が例えば市長に陳情して、議会にもそういう制度がありますよということを、受けた所が説明しなさいということですかね。いや市長だけで良いとか言われれば、それはそれで。その場合は、こういうのが出ていますというのを議会にも報告してくださいということですかね。

芦谷委員

はい。今は資料が十分ないので、要請文と30年度の陳情受付一覧表と併せて提案させていただいて、議運の委員長もおられないし。できれば広報広聴で了解をいただければ、議運に諮って議長名をして市長にお願いする、ということを考えています。よろしくお願いします。

近重書記

これをまた次回のフォルダに。

小川委員長

ご意見については、また検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

4. その他

小川委員長

その他ございますか。

(「ありません」という声あり)

それでは以上をもちまして、議会広報広聴委員会を終了させていただきます。

[午後 0時 35分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏